

P-3C体験搭乗！ ～海上自衛隊厚木航空基地で航空機の魅力を満喫～



ブリーフィングの様子



体験搭乗前 イヤーマフ配布の様子



航空機見学の様子



パイロットと記念撮影をする参加者



P-3Cの機内見学



パイロットの説明を聞く参加者

自衛隊栃木地方協力本部（本部長 加藤 浩一陸佐）は7月5日（土）、海上自衛隊厚木航空基地で募集対象者等20名に対しP-3C体験搭乗を行った。

当日は夏らしい晴天に恵まれ絶好の体験搭乗日和となった。米海軍と共同施設の海上自衛隊厚木航空基地へ到着すると、専門の受付は米海軍の隊員等が行っており、参加者たちは早くも異国情緒あふれる体験に期待と胸が大きく膨らんでいた。米軍基地内のフードコートで昼食を取ると、英語のメニューやドルで返ってくるお釣りなどに「プチ海外旅行」の気分を味わうことができた。米軍基地内を通り抜け、部隊へ到着するとP-3Cの任務についてのブリーフィングの後、最初に搭乗する10名にドックタグやイヤーマフが配られ、体験搭乗に向かった。搭乗待ちのグループにはP-3Cの見学が行われ、操縦席に交代で座り、各機材の説明を受けていた。参加した高校生から「近くで見るとすごい迫力ですね。海上自衛官になりたいと考えているので、今回の体験搭乗はとても貴重な体験ができました。現役パイロットのお話しが聞けたのもとても参考になりました」と笑顔で話してくれるなど、海上自衛隊厚木航空基地の魅力を満喫した一日となった。

栃木地本は「今後も、各種イベントを通じ募集対象者等に積極的に働きかけ、自衛隊への理解の促進を図るとともに募集活動を推進していく」としている。



P-3Cの前で記念撮影